

平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年1月23日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松尾 民男

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,589	7.5	5,683	35.0	5,994	32.4	3,682	27.7
23年3月期第3四半期	93,659	11.5	8,740	103.3	8,865	101.6	5,094	95.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,658百万円 ( 28.4%) 23年3月期第3四半期 5,112百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	165.76	
23年3月期第3四半期	229.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	65,985	40,235	61.0	1,811.27
23年3月期	71,601	38,606	53.0	1,707.75

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 40,235百万円 23年3月期 37,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		20.00		40.00	60.00
24年3月期		20.00			
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	8.3	8,400	21.8	8,600	21.5	5,000	20.4	225.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	22,237,873 株	23年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	24年3月期3Q	23,667 株	23年3月期	23,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	22,214,341 株	23年3月期3Q	22,214,858 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の立ち直りをけん引してきた生産や輸出に底堅さがみられたものの、欧州債務危機の影響による世界景気の減速や、歴史的な円高に加えタイ洪水の影響もあって、全体として回復の動きは鈍化したままで推移しました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、地デジ化移行(2011年7月)特需の反動により、テレビやレコーダーの需要が激減しました。また、パソコン周辺機器市場は、タイ洪水の影響によるハードディスクの供給不足と価格の高騰、これを受けた製品価格の大幅値上げにより、需要が減退する等厳しい状況が続きました。一方で、スマートフォン市場は急速な普及を背景に大幅に伸長し、その周辺機器市場も拡大しました。

当社グループは、このような厳しい市場環境の中で、引き続き国内市場での販売拡大とシェア確保とともに、海外事業の展開に懸命に努力しました。しかし、ハードディスクの供給不足と製品価格の値上げに伴い主力事業の一つであるストレージ製品の販売台数は大幅に減少しました。また、競争激化によるネットワーク製品の単価下落、新商品の投入遅れ等のマイナス要因が重なりました。これらを挽回するべく、新たな成長市場であるスマートフォン向けの新商品を発売するとともに、撮った写真をパソコンを使わず簡単に保存し、それを大画面のテレビで見られる「おもいでばこ」を発売する等、新市場の開拓に向け努力を続けました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は865億89百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益56億83百万円(同35.0%減)、経常利益59億94百万円(同32.4%減)、当期純利益36億82百万円(同27.7%減)となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、第2四半期に引き続き、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化による、メモリモジュール追加購入需要が低迷したことから、販売台数は前年同期比で17.1%減少しました。また、DRAM価格下落の影響もあり、売上高は前年同期比49.4%減の35億36百万円となりました。

フラッシュメモリ製品では、SD等メモ리카ード、次世代規格USB3.0対応USBフラッシュの拡販に努めました。これにより、販売台数は前年同期比で18.2%増加し、売上高は前年同期比14.2%増の66億93百万円となりました。

ストレージ製品では、タイ洪水の影響による製品価格の値上げに起因する需要の減退により、主力の外付ハードディスクの販売台数が減少しました。販売台数は前年同期比で7.3%減少し、売上高は前年同期比18.7%減の270億18百万円となりました。

NAS(ネットワークハードディスク)製品では、NASに貯めたデータをインターネットを介してスマートフォンで見たり、聴いたりするプライベートクラウドストレージ用途の活用提案を進めました。ユーザーの裾野を広げるべく、設定が簡単なLinkStation cloud Editionを発売する等、NASの需要喚起に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比で11.0%増加し、売上高は前年同期比4.7%増の95億49百万円となりました。

ネットワーク製品では、スマートフォンでの無線LANの利用が増加傾向にある流れを受け、専門知識がないユーザーでも簡単に無線LANを設定できる製品を発売する等、市場拡大に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比で27.2%増加しましたが、単価下落により、売上高は前年同期比8.1%減の194億91百万円となりました。

デジタルホーム製品では、地デジ化移行後の反動により、第2四半期後半から需要が減少しました。また、新たな視聴形態を提案する、8チャンネル分の地上デジタル放送を最大8日間自動で録画する機能を実現したテレビレコーダー「ゼン録」を発表しましたが、製品出荷には至りませんでした。しかし、第2四半期前半までの地デジ関連製品の売上伸長により、販売台数は前年同期比で55.2%増加し、売上高は前年同期比64.5%増の63億54百万円となりました。

サブライ・アクセサリ製品では、液晶保護フィルム・保護ケース等、スマートフォン関連製品のラインアップを拡充しました。また、マウス、Webカメラ等のパソコン周辺機器においてもシェア確保に注力しました。これらにより、販売台数は前年同期比で17.1%増加し、売上高は前年同期比10.1%増の83億44百万円となりました。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成23年3月期 (第3四半期連結累計期間)		平成24年3月期 (第3四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	6,989	7.5	3,536	4.1	△49.4
フラッシュメモリ	5,861	6.3	6,693	7.7	14.2
ストレージ	33,226	35.5	27,018	31.3	△18.7
NAS	9,120	9.7	9,549	11.0	4.7
ネットワーク	21,218	22.6	19,491	22.5	△8.1
デジタルホーム	3,863	4.1	6,354	7.3	64.5
サブライ・アクセサリ	7,576	8.1	8,344	9.6	10.1
DOS/Vパーツ	3,569	3.8	3,463	4.0	△3.0
サービス	1,641	1.8	1,561	1.8	△4.9
その他	591	0.6	575	0.7	△2.7
合計	93,659	100.0	86,589	100.0	△7.5

海外事業については、依然として厳しい事業環境が続いていますが、拠点の拡充とともに拡販に努めた結果、売上高は前年同期比10.0%伸長しました。また、アジア各国においてバッファローショップを展開するなど、海外でのブランド力強化にも注力し、当社グループの最重要課題である海外展開戦略の強化拡充に努めました。

[海外売上高]

	アジア オセアニア	北米・中南米	欧州	計
当第3四半期連結累計期間(百万円)	5,372	2,121	5,333	12,827
前第3四半期連結累計期間(百万円)	4,867	2,225	4,568	11,662
前年同期比増減(%)	10.4	△4.7	16.7	10.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は659億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億15百万円減少しました。流動資産は605億6百万円となり51億10百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少109億32百万円、受取手形及び売掛金の減少30億81百万円、有価証券の増加79億36百万円によるものです。固定資産は54億79百万円となり5億5百万円減少しました。

負債合計は257億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億44百万円減少しました。流動負債は228億56百万円となり、67億30百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少31億90百万円、未払法人税等の減少22億20百万円によるものです。固定負債は28億93百万円となり、5億14百万円減少しました。

純資産合計は402億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億29百万円増加しました。これは主に、四半期純利益の獲得36億82百万円と配当金の支払13億32百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月11日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,296	11,364
受取手形及び売掛金	22,080	18,999
有価証券	9,100	17,037
商品及び製品	5,712	5,538
原材料及び貯蔵品	4,582	6,217
その他	1,878	1,373
貸倒引当金	△35	△23
流動資産合計	65,616	60,506
固定資産		
有形固定資産	956	950
無形固定資産		
のれん	43	10
その他	2,179	1,658
無形固定資産合計	2,223	1,668
投資その他の資産		
その他	3,036	2,876
貸倒引当金	△231	△17
投資その他の資産合計	2,805	2,859
固定資産合計	5,984	5,479
資産合計	71,601	65,985
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,148	16,958
未払法人税等	2,804	583
未払金	2,868	2,890
役員賞与引当金	41	20
製品保証引当金	155	131
訴訟損失引当金	44	—
事業再構築引当金	300	6
その他	3,223	2,264
流動負債合計	29,586	22,856
固定負債		
退職給付引当金	925	969
役員退職慰労引当金	555	517
リサイクル費用引当金	158	157
その他	1,768	1,248
固定負債合計	3,407	2,893
負債合計	32,994	25,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	36,435	38,784
自己株式	△59	△60
株主資本合計	38,150	40,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	98
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	△314	△362
その他の包括利益累計額合計	△213	△263
少数株主持分	670	—
純資産合計	38,606	40,235
負債純資産合計	71,601	65,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	93,659	86,589
売上原価	72,834	67,567
売上総利益	20,825	19,021
販売費及び一般管理費	12,084	13,338
営業利益	8,740	5,683
営業外収益		
受取利息	39	39
受取配当金	18	189
有価証券売却益	—	32
為替差益	142	—
投資事業組合運用益	61	—
デリバティブ評価益	—	1
貸倒引当金戻入額	—	14
訴訟損失引当金戻入額	—	40
その他	31	46
営業外収益合計	293	363
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	27
有価証券売却損	—	0
デリバティブ評価損	135	—
持分法による投資損失	—	0
その他	32	24
営業外費用合計	168	52
経常利益	8,865	5,994
特別利益		
固定資産売却益	—	2
訴訟損失引当金戻入額	68	—
事業再構築引当金戻入額	—	7
その他	5	—
特別利益合計	73	9
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	16	7
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	5	—
過年度使用料	88	—
事業再構築引当金繰入額	280	—
その他	40	—
特別損失合計	432	7
税金等調整前四半期純利益	8,507	5,996
法人税、住民税及び事業税	3,159	2,033
法人税等調整額	171	254
法人税等合計	3,331	2,288
少数株主損益調整前四半期純利益	5,175	3,708
少数株主利益	81	26
四半期純利益	5,094	3,682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,175	3,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	3
繰延ヘッジ損益	2	△4
為替換算調整勘定	△31	△48
その他の包括利益合計	△62	△49
四半期包括利益	5,112	3,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,031	3,632
少数株主に係る四半期包括利益	81	26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	86,239	625	4,568	2,225	93,659
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,212	5,917	46	10	12,187
計	92,452	6,543	4,615	2,236	105,846
セグメント利益又は損失(△)	8,696	98	△97	70	8,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,768
セグメント間取引消去	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	8,740

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	77,791	1,363	5,331	2,103	86,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,299	3,270	9	36	10,615
計	85,091	4,633	5,340	2,139	97,205
セグメント利益又は損失(△)	5,815	12	△22	△235	5,570

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,570
セグメント間取引消去	113
四半期連結損益計算書の営業利益	5,683

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。